



12月 園だより

枚岡幼第22-60
認定こども園
枚岡カトリック幼稚園
2022年11月29日

～ 今月の聖句 ～

さあ、ベツレヘムへ行こう。

ルカによる福音書2章8～20節

教会の暦では、11月27日(日)から イエス様のお誕生を心待ちにする《待降節》が始まりました。幼稚園では、聖劇にあわせて一足早い《待降節》(アドベント)を過ごしています。夕方「ピンポン!」と鳴るたびに、「つぎは ぼくのおかあさんかな・・・!?」と子どもたちは、お迎えに来られる保護者の方を待っています。どんどん帰っていくお友だちを見て、悲しくなるお友だちもいれば、全く気にせず遊びを続けるお友だちもいます。待ち方は様々ですが、必ず迎えに来てくれる!という思いは、皆が持っています。クリスマスの待降節も、その「待つ」という気持ちと同じなのでしょう。来るかもしれない・・・ではなく、必ず来てくださる!救い主がお生まれになる!という確信のなかで、待つ気持ちです。

今月の聖句は、子どもたちが聖劇で演じている ～うれしい知らせ～の場面で、羊飼いが、天使たちの「恐れることはありません。今日あなたの方のために救い主がお生まれになりました。」との知らせを聞いて、喜び勇んででかけるところです。聖劇を通して、子どもたちの脳裏の片隅に、場面の一つひとつが焼き付いて、大人になった時に思い出してくれるとうれしいなどと思っています。年長が演じる姿を、年中や年少のお友だちは、食い入るように見えています。年中のお友だちが、「わたしはおおきくなったら あれ やりたい!!」と話しているのを聞きました。お兄さんお姉さんが演じるクリスマスのお話をしっかり心に留めているようです。

まもなくやってくるクリスマスは、自分たちがプレゼントをもらうことや、ごちそうを食べるだけではなく、誰かのために頑張る心や、素直になれる心、感謝の気持ちを持つこと、困っている人に目を向けることができるようになるなど、心の準備をしてイエス様のご降誕を迎えたいと思います。



□ 12月のねらい

年長	・待降節を過ごす中で、自分のことだけでなく自分の周りや世界に視野を広げ過ごす。
年中	・聖劇の練習を通して、年長児の姿を見て憧れや期待を持てるようにする。 ・冬の行事に興味関心を持ち、友だちと楽しく過ごす。
年少	・戸外遊びを通して、冬の訪れを感じ、寒さに負けず元気に体を動かす。 ・聖劇やクリスマスに期待を持つ。
2歳	・一番大きな贈り物であるイエス様のご誕生を皆でお祝いする。 ・様々な遊びや全身運動を楽しみ、好奇心を広げる。
1歳	・一番大きな贈り物であるイエス様のご誕生を皆でお祝いする。 ・秋の自然に親しみ、お散歩や園庭遊びを楽しむ。